



徳島の留学生交流

International student exchange in Tokushima

留学生と地域社会との交流をめざして

か
ず
ら
ば
し

2 0 1 2

徳島地域留学生交流推進協議会

International Student Exchange in Tokushima

目 次

○ 寄稿

鳴門市	-----	1
-----	-------	---

徳島ゾンタクラブ	-----	3
----------	-------	---

○ 留学生への支援事業	-----	4
-------------	-------	---

○ 留学生交流事業	-----	7
-----------	-------	---

○ 徳島地域の外国人留学生受入の現状	-----	13
--------------------	-------	----

○ 留学生の声

鳴門教育大学大学院学校教育研究科2年 班 婷 （中国）	-----	15
--------------------------------	-------	----

鳴門教育大学教員研修留学生 文 允雅 （韓国）	-----	16
----------------------------	-------	----

四国大学文学部日本文学科1年 周 盈 （中国）	-----	17
----------------------------	-------	----

四国大学文学部日本文学科1年 劉 芳 （中国）	-----	18
----------------------------	-------	----

徳島文理大学総合政策学部交換留学生 王 涓 （台湾）	-----	19
-------------------------------	-------	----

徳島工業短期大学車体専攻科 楊 天笑 （中国）	-----	20
----------------------------	-------	----

○ 留学生の声

阿南工業高等専門学校電気電子工学科5年 バトサイハン バトムフ （モンゴル）	21
阿南工業高等専門学校電気電子工学科5年 イラツシャルディラ ビンティ バイハキ （マレーシア）	22
阿南工業高等専門学校制御情報工学科5年 グエン ホアイ ナム （ベトナム）	23
徳島大学大学院総合科学教育部博士前期課程2年 季 昀 （中国）	24
徳島大学大学院先端技術科学教育部博士前期課程2年 ガンバト ボロルツェツェグ （モンゴル）	25

国際交流の成果を次世代へ

鳴門市長
泉 理 彦

鳴門市がベートーヴェンの「第九」交響曲アジア初演の地だということを皆様はご存じでしょうか。そのきっかけは、第一次世界大戦時に本市で生まれたドイツとの交流でした。

当時、鳴門市には板東俘虜収容所があり、そこに約 1,000 人のドイツ兵捕虜が収容されていました。捕虜たちは約 3 年間の滞在期間の間、地元住民と交流を深め、牧畜、製パン、洋菓子、建築、スポーツなどの優れた西洋技術を地元住民に伝えた他、音楽の分野においては、収容所内で 100 回以上のコンサートを行いました。そのひとつがアジア初演となるベートーヴェンの「第九」交響曲演奏会でした。このことに鑑み、鳴門市では毎年 6 月の第一日曜日に、日本中ではもとより、ときにはドイツや中国からも合唱団員を招き、定期演奏会を開催しています。



こうした歴史的背景をもとに、本市は 1974 年にドイツ・リューネブルク市と姉妹都市盟約を締結し、現在も活発な交流を行っています。隔年で、それぞれの市民からなる親善使節団を派遣し合っており、この事業をとおして市民間の温かい友情が年々深まり、両市の交流はまもなく 40 年を迎えようとしています。姉妹都市交流はこれまで友好コスモス交流や絵画交流など、さまざまな交流に発展してきましたが、今後も友好関係を末永く継続させ、幅広い交流を行っていくためには、より多くの市民の交流参加、とりわけ若い世代の参加は欠かせ



ませんが、90年以上前に自分たちが暮らす街で日独交流が生まれたのだという貴重な歴史を深く理解すると同時に、姉妹都市交流がさらなる広がりを見せることを期待しています。

また、本市はドイツ兵が中国の青島市で捕虜になったという歴史的事実に鑑み、平成11年より青島市と「第九」を通じての交流や大学間交流を展開してきました。さらに平成23年には、経済・観光・教育・文化・スポーツなど幅広い分野でさらに国際交流を進めようと、中国・張家界市との友好都市交流もスタートさせました。こうしたアジアやヨーロッパとの姉妹都市・友好都市交流を通じて、鳴門市の国際都市としての発展を目指すとともに、本市の青少年にとって、世界に目を向けるきっかけとなり、将来的には国際的視野を持ったグローバルに活躍できる人材育成につながることを願っています。



ささやかながら

国際ゾンタ 26 地区エリア 4
徳島ゾンタクラブ

「これいけるかいなあ」「お米食べてもらえるわなあ」「あんまり古いもんあかんでよ」。

3 月の例会、会員はあれこれ言いながら留学生のみなさんに提供する生活用品を持ち寄ります。徳島地域留学生の世話をされている担当の方から、4 月新学年が始まる時には、すべて‘うりきれる’（使ってくれる学生さんがきまる）とお聞きするとほっとします。自転車を提供して大変喜ばれたこともあります。慣れない徳島で少しでも学生生活の足しになればと願っています。



12 月にはインターナショナルナイトを行います。留学生さんたち数人をお招きし、食事をしながら会話を楽しみ、それぞれのお国言葉で簡単な挨拶を交わしあったり、母国のこと、研究内容、将来の希望などを話していただきます。みなさんしっかり目標を持ち、日本や阿波の文化に興味を持ち、とても深く理解している学生さんもいて、感銘をうけています。ここで知り合って交流が生まれ、自宅に来てくれるようになった会員や、大根など自家製野菜を食べてもらった会員もいます。できるだけ異なった出身国・留学先の学校から招待するよう心がけています。



「ゾンタ」とは耳慣れない言葉ですが、アメリカ先住民スー族の言葉で「正直」

「信頼」を意味します。国際ゾンタはシカゴに本部を置き、女性の平等の権利、教育と健康の享受、女性と子どもに対する暴力の根絶などを提唱するプロジェクトを、国連と協力してあるいは独自に推進しています。この趣旨に従い、徳島大学大学院女子留学生に奨学金を贈呈しています。

大変ささやかな活動ですが、今後も心を込めて留学生活のお手伝いを続けたいと思っています。よろしくお願いいたします。

○留学生への支援事業

1 留学生に対する奨励事業

徳島地域留学生交流推進協議会では、留学生の一時帰省旅費や、特に臨時の資金を必要とする場合に次の表の範囲内で貸付を行っています。貸付を希望する人は所属大学の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでいただくことにしています。

区 分	貸 付 金 額	備 考
一時帰省旅費	帰省旅費（エコノミークラス）の片道相当額	帰国後 6 ヶ月以内に一括又は分割返済
特 別 貸 付	10万円以内	6 ヶ月以内に一括又は分割返済

2 ホストファミリープログラムの実施

徳島地域留学生交流推進協議会では、(財)徳島県国際交流協会と共催し留学生をホストファミリーの家庭へ受け入れ、家族ぐるみの交流を行うことにより互いの文化の交流を深めるとともに、留学生が疎外感を感じることなく徳島での生活をより快適に、有意義に過ごせるよう支援することを目的として実施しています。このプログラムでは、宿泊を伴うホームステイと宿泊を伴わないホームビジットがあります。

ホストファミリーの紹介を希望する人は所属大学等の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでください。

また、ホストファミリーとなっていただける方を広く募集しています。申し込み方法等の詳細は(財)徳島県国際交流協会又は事務局までご連絡ください。

3 生活用品の無償提供

徳島地域留学生交流推進協議会では、各国際交流団体の協力を得て、交流団体の会員等から生活用品を無償提供していただき、各大学等の留学生を対象とし配布することとしています。

4 留学生のための奨学金等

名称	給付額	人数(平成23年度)	備考
徳島大学国際教育研究交流資金	月額30,000円又は 50,000円	徳島大学 19名	
藤井・大塚国際教育研究交流資金	月額30,000円又は 50,000円	〃 20名	
徳島大学若葉会奨学基金	年額200,000円又は 150,000円	〃 3名	
徳島大学卒業生同窓会推薦留学生奨学金	月額100,000円	〃 1名	
ロータリー米山記念奨学会奨学金	月額140,000円又は 100,000円	〃 4名	
公益信託三木武夫国際育英基金	月額25,000円	〃 1名	
日本国際教育支援協会(JEES)一般奨学金	月額30,000円	〃 1名	
財団法人日揮・実吉奨学会第2種給与奨学金	年額250,000円	〃 2名	
財団法人日揮・実吉奨学会第3種給与奨学金	月額180,000円	〃 1名	
ドコモ留学生奨学金	月額120,000円	〃 1名	
財団法人 朝鮮奨学会	月額70,000円	〃 1名	
大塚敏美育英奨学財団	年額1,000,000円又は 1,500,000円	〃 2名	
佐川留学生奨学財団	月額100,000円	〃 1名	
藤井国際奨学財団	年額50,000円	〃 2名	
徳島ゾンタクラブ	年額100,000円	〃 1名	
大塚芳満記念財団	年額500,000円	〃 1名	
財団法人平和中島財団	月額120,000円	〃 1名	
財団法人みずほ国際交流奨学財団	月額120,000円	〃 1名	
鳴門教育大学私費外国人留学生奨学金	年額50,000円	鳴門教育大学 11名	
大学間交流協定に基づく交流学生奨学金	月額5,000円	〃 2名	
鳴門ゾンタクラブ外国人女子奨学金	年額200,000円	〃 1名	
公益信託三木武夫国際育英基金	月額25,000円	〃 1名	
授業料免除	年額588,000円(1年)	徳島工業短期大学 8名	70%免除
	年額616,000円(2年)	〃 11名	70%免除
	年額672,000円(専攻科)	〃 2名	80%免除
外国人留学生奨学金	1回172,000円	〃 6名	国家試験合格者
外国人留学生学習奨励費	毎月48,000円	〃 3名	女子学生

5 その他の支援事業

団体名	事業内容
徳島大学	日本語補講 日本文化・企業見学旅行 新入学留学生ガイダンス 生活支援(留学生住宅総合保障の加入金補助、渡日一時金の支給)
鳴門教育大学	外国人留学生を支援する基金－火災・風水害の被害、病気・事故による入院への支援 日本語補講(入門クラス, 初中級クラス, 中級クラス, 上級クラス), 日本語能力試験対策講座 外国人留学生学外研修(日帰り)－会社訪問, 文化施設訪問, 体験学習等 外国人留学生学外研修(1泊2日)－県外での日本文化体験, 工場見学等 日本文化体験－書道, 着付, 茶道, 大正琴等 外国人留学生新入生オリエンテーション 鳴門警察署による交通安全オリエンテーション 教員研修留学生研究発表会・修了式(本学での1年間の研究成果の発表)
四国大学 四国大学短期大学部	留学生オリエンテーション(資格外活動, 各種奨学金等に係る手続きの説明) 生活及び進路相談
徳島工業短期大学	生活用品(冷蔵庫, 洗濯機, 自転車)の貸与 入学祝金の支給 留学生後援会からの誕生祝金の支給
阿南工業高等専門学校	留学生に対する日本語補講 留学生に対する日本事情補講 留学生に対する数学・専門科目補講 留学生に対する生活必需品購入指導 留学生(短期留学生)に対する英会話指導
(財)徳島県国際交流協会	日本語教室 外国人生活相談 外国人子育てサロン(託児つき日本語教室) 防災スタディーツアー 多言語情報提供 多言語電話相談
徳島市国際交流協会	談話室運営 生活用品貸出 情報提供(ニュースレター, 図書, 新聞) 相談窓口の開設 語学講座(日本語・英語・仏語)の運営
鳴門ダイバーシティクラブ	私費留学生へのアルバイト紹介
小松島市国際交流協会	生活物資支援 日本語教室の運営(夜間開催) 託児付き日本語教室の開催(日曜日) 外国人向け和食料理教室
徳島ゾントクラブ	留学生に生活用品の提供
徳島ユネスコ協会	留学生への生活用品の提供

○留学生交流事業

平成24年度交流事業

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
(財)徳島県国際交流協会	7月	外国人による日本語弁論大会	在県外国人の率直な意見を聞くとともに、質疑応答などを交えて県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	8月	阿波おどり交流事業(国際交流連・あらしわ連)	阿波おどりを外国人に紹介するとともに県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	10月	ホームステイ・ホームビジットプログラム	日本の家庭生活を味わってもらうことにより、日本の文化に触れ、異文化理解や相互理解を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	通年	TOPIAネットワーク会員講師派遣事業	在県外国人を講師として小・中・高等学校等に派遣し、青少年への国際理解を深める。
徳島市国際交流協会	4月	弁天山さくらまつり	国際交流の集い(お花見・お餅つき・お茶会など)
	8月	阿波踊り	国際交流の集い
	9月	国際ふれあいキャンプin牟岐	国際交流の集い(磯の散策・島めぐり・バーベキューなど)
	10月	剣山登山	国際交流の集い
	12月	年忘れボーリング大会	〃
	2月	新春・国際交流パーティー	国際交流の集い(ダンス・各国演芸・立食)
	月1回	国際親善スポーツ	フットサル大会
小松島市国際交流協会	7月	外国人阿波踊りコンテスト	阿波踊りを通じての交流
	11月	国際交流みかん狩り	留学生と市民との交流
阿南市国際交流協会	5月	留学生歓迎会	留学生及び在住外国人と市民の交流
	6月	外国語料理教室	モロッコ料理を通じて市民と留学生との交流
	10月	バス旅行	留学生及び在住外国人と市民の交流 やまなみ街道を満喫しよう
	1月	新年会	留学生及び在住外国人と市民の交流
北島町国際交流協会	5月	留学生歓迎パーティー	留学生と住民との交流
	11月	外国料理講習会	料理を通じての国際交流
徳島YMCA	7月～8月	ICGPO(インターナショナルキャンプカウンセラーイン大阪)	中国、台湾、シンガポール、韓国の青年がYMCA阿南国際海洋センター(阿南市)にて約1ヶ月間のキャンプカウンセラー体験を行い、徳島県内及び県外のキャンパーと交流を持った。
徳島ゾンクラブ	12月	インターナショナルナイト	留学生を招待して交流
徳島大学	不定期	日本文化体験	日本文化・企業見学旅行(12月)、留学生スキー旅行(1月)
	7月、1月	ホームステイ・ホームビジット	留学生が日本の家庭を訪問し、日本語による会話を通して日本の文化や慣習を体験する
	7月、10月	小学校訪問	地域の小学校を訪問し、日本文化を共に学んだり、自国の文化を紹介したり、英語活動に協力する
	11月	多文化体験交流会	徳島大学大学祭において留学生、日本人学生及び地域住民との交流会
	3月	外国人留学生の卒業・修了を祝う会	卒業・修了予定の留学生と教職員等との交流懇談会
	不定期(月1回)	国際交流サロン	留学生と地域住民・日本人学生が日本語を通して共に学ぶ協働の場。居合道の体験(5月)、茶道を楽しむ(6月)、浴衣を着て阿波踊り(7月)、日本の伝統的な遊び(10月)、留学生の国への誘い(11月)、着物の歴史を学んで着てみる(12月)、世界の料理(1月)、華道を楽しむ(2月)、ひな壇飾り(3月)

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
鳴門教育大学	6月	国際交流親睦パーティー	留学生と大学院生、学部生、教職員との交流会
	8月	イングリッシュ・キャンプ	鳴門市中学生と留学生の交流
	平成24年10月 ～平成25年1月	外国青年と小学生の国際交流活動	鳴門市小学生と本学留学生の国際交流学習会
	11月	松茂小学校 インターナショナルクラブ(国際交流)	小学校クラブ活動での国際交流
四国大学 四国大学短期大学部	随時	留学生面談会	生活及び進路相談、近況報告
	随時	イングリッシュ・ランチ	留学生と日本人学生が昼食時に英会話で交流
	随時	中国セミナー	留学生が留学予定の日本人学生に異文化・学生生活について紹介
	9月	外国人留学生実地見学	日本事情の実地見学・研究用資料の収集等
徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部	4月 9月	留学生懇談会	新入留学生を迎え、当該国出身教員を含めて、相互の懇親を深める目的で懇談会を実施。
	4月	新入生歓迎懇談会	留学生及び国内離島等出身の学生に対し、学園理事長主催で、歓迎懇談会を開催し、懇親を深めた。
徳島工業短期大学	4月	留学生歓迎昼食会	留学生の近況報告会来日を歓迎する会
	4月	研修旅行	留学生と邦人学生相互の交流(勝浦)
	6月	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
	11月	研修旅行	留学生と邦人学生相互の交流
阿南工業高等専門学校	4月	花見ツアー	新たな留学生を迎えてのお花見
	6月	国際交流懇談会	阿南市職員、阿南市国際交流協会、本校外国人留学生及び本校教職員との懇談会
	6月	留学生実地見学旅行	日本の歴史・文化の体験旅行(白川郷、高山)
	6月	国際理解教室及び手打ちうどん作り教室への参加	「マレーシア・ベトナム・インドネシアのお話」の派遣講師として参加 手打ちうどん作りへの参加 小学生対象の国際理解教室への参加
	7月	International Students Presentation	4年生、5年生、専攻科生と留学生によるインターンシップの発表
	7月	インターナショナルパーティー	本校留学生、チューター、在学生及び国際交流室関係教員との懇談会
	11月	蒼阿祭	高専生と市民との交流
	12月	四国地区高専総合文化祭	他高専の学生、留学生および市民との交流
	毎週月・火・木・金曜日	日本語教室	留学生と在日外国人との交流
	毎週木曜日	イングリッシュ・カフェ	留学生と高専学生との英会話のみによる交流

各国際交流団体の事務局所在地

団体名	事務局所在地	連絡先電話
(財)徳島県国際交流協会	徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6階	088(656)3303
徳島市国際交流協会	徳島市新蔵町1-88	088(622)6066
鳴門ダイバーシティクラブ	鳴門市撫養町南浜31-45 シティハイムpart1 205号室 (株)スモールワーク内	088(683)0270
小松島市国際交流協会	小松島市横須町1-1 小松島市役所内	0885(32)2191
阿南市国際交流協会	阿南市向原町天羽畠103-1 西野建設(株)内	0884(23)5599 (夢ホール市民協議会内)
北島町国際交流協会	板野郡北島町中村字上地23-1 北島町役場内	088(698)9801
徳島ユネスコ協会	徳島市丈六町八万免21-6 山本滝子様方	088(645)0091
国際ソロプチミスト徳島	徳島市東山手町3-10 杉浦正美様方	088(622)3138
徳島中央ロータリークラブ	徳島市仲之町3丁目27番地6号 エムエフビル1F	088(626)1700
徳島YMCA	徳島市新町橋2丁目29-1 蔵本ビル1階	088(626)0035
徳島ゾンタクラブ	徳島市一番町3-16-3 阿波観光ホテル内	088(622)5161

交流風景

徳島県国際交流協会



日本語弁論大会



阿波おどり



小松島市国際交流協会



国際交流みかん狩り

徳島工業短期大学



春の遠足：百閒滝見学



春の遠足：勝浦町でピザ作り



秋の遠足：京都太秦映画村にて

徳島大学



多文化体験交流会

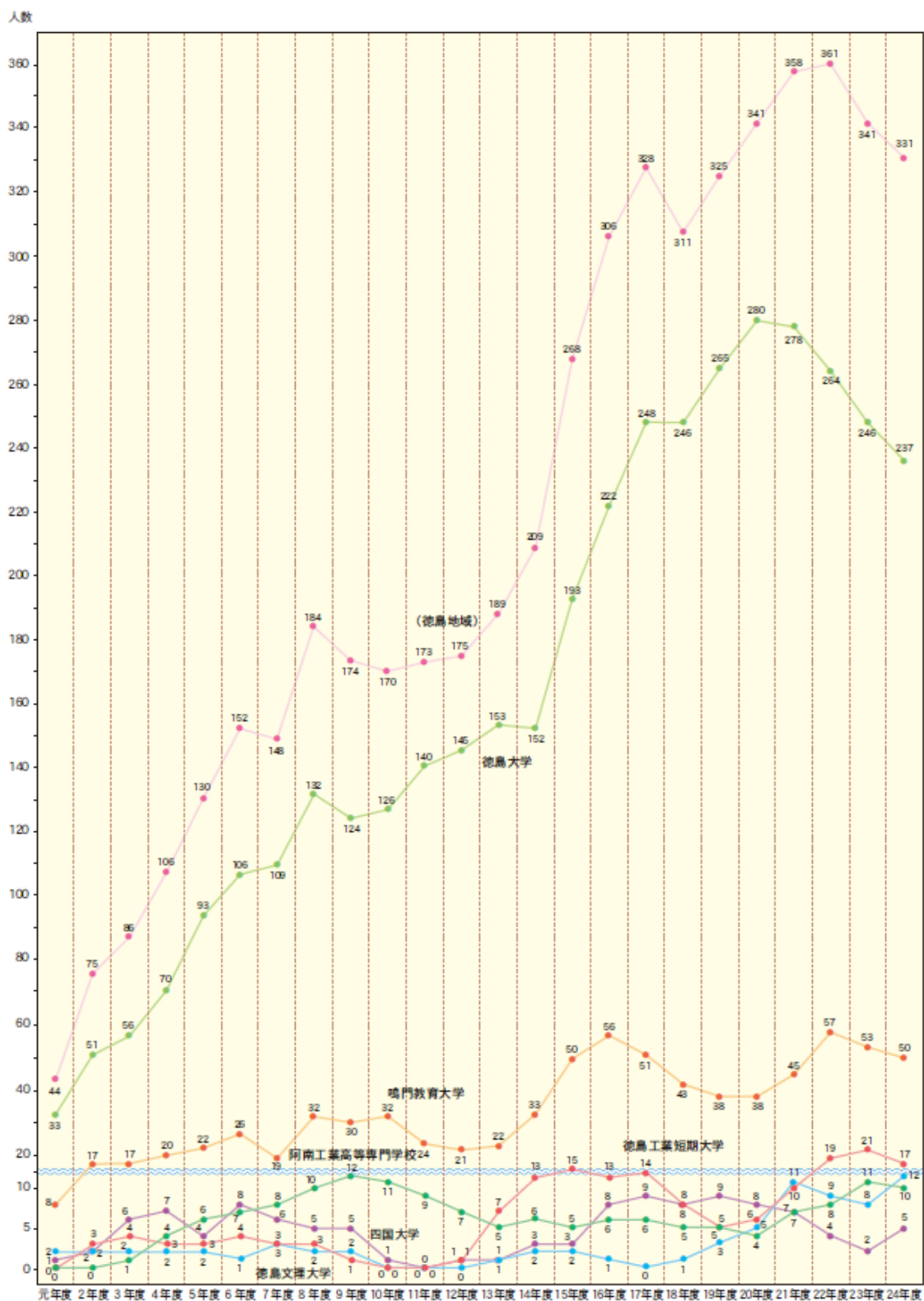


日本文化・企業見学旅行
吹田市資源リサイクルセンターにて

清水寺にて

○徳島地域の外国人留学生受入れの現状

1 留学生受入れ数の推移



2 出身国・大学等別の留学生数

(平成24年10月1日現在)

国・地域		国立大学		私立大学		私立短期大学			高専	合 計
		徳島大学	鳴門教育大学	四国大学	徳島文理大学	四国大学短期大学部	徳島文理大学短期大学部	徳島工業短期大学	阿南工業高等専門学校	
アジア	中国	112	30	5	1			13		161
	韓国	16	1		2					19
	台湾	2	2		7		2			13
	マレーシア	17						1	5	23
	インドネシア	14	3						1	18
	バングラデシュ	9								9
	ベトナム	12						2	2	16
	ミャンマー	1						1		2
	東ティモール		1							1
	モンゴル	26	1						1	28
	タイ		4							4
中近東	クウェート	1								1
ヨーロッパ	ベラルーシ	1								1
	ノルウェー	1								1
	ポーランド	1								1
	フランス	1								1
	スウェーデン	1								1
	ハンガリー	1								1
アフリカ	エジプト	7								7
	ウガンダ	2								2
	ガーナ	1								1
	ケニア	1	1							2
	エチオピア	1								1
	ルワンダ		2							2
	モロッコ								1	1
	マダガスカル	1								1
	ギニア	1								1
北米	アメリカ合衆国	4								4
中南米	コロンビア	1								1
	メキシコ		1							1
	グアテマラ	1								1
	ペルー	1								1
大洋州	フィジー		2							2
	サモア		2							2
合計		237	50	5	10	0	2	17	10	331



静かで情熱な徳島

鳴門教育大学

大学院学校教育研究科 2 年

ハン ティ
班 婷

中国

今年の夏休みのことだ。東京で留学している友達と京都を回っている際に、京都駅の近くで昼食を取るようになった。するとどこからか阿波踊りの三味線の音楽が耳に入

った。一瞬、親しい感じが湧き、目を向けると、徳島ラーメンの店から流れた音楽だった。すぐ友達に、「ここに入ろう。美味しいよ！」と薦めた。

中国には、「熟悉的身边没有风景」ということわざがある。それは、あるところに長く住めば、どんなに良い景色であってもそれに慣れてしまうためだんだん良い景色と意識しなくなるということだ。私にとって、徳島は正にその通りだ。普通に生活しているからこそ、徳島はどんなところなのか、あまり考えなくなる。そして、よその土地に行ってはじめて、自分が「徳島県民」としての、徳島に持っている誇りと、徳島に対する愛情に気付かされた。

徳島に来たのは一昨年の10月だ。来てすぐこの親切な土地柄に魅了された。静かな町、豊富な自然、優しい人たち…徳島は、静かで親切なおばさんみたいに、私を受け入れてくれた。

しかし、このいつも静かで親切なおばさんは、7、8月に限って、少女のような情熱を見せる。

7月から、公園や広場に行くと、必ず阿波踊りを練習しているのが見えるほど、どこでも阿波踊り祭りの準備をしている。この高まりは8月の祭りの時になって頂点に達する。特に、徳島市内の祭りに行くと、足を踏んだり踏まれたりしそうなほどにぎやかだ。このような中で、自分でも心地良くなって音楽を聞くと踊りそうになる。

徳島に2年住んで、この三味線の音楽が阿波踊りと共に私の頭に最も深く印象を残した。だから、京都でこの音楽を聞いた時に親しみを感じたのだろう。



徳島の魅力

鳴門教育大学
教員研修留学生

ムン ユ ナ
文 允雅

韓国

2010年の来日前に韓国で四国に関する情報を収集したが、情報が乏しく2冊しか見つけられなかった。今は阿波踊り、渦潮、ドイツ館、すだち、鳴門金時など徳島

県の有名な観光地と名産を詳しく知っているが、最初はこれほどあまり知られてないところで何ができるのかなと思いながらちょっとだけ不安も感じていた。でも、徳島県でしか経験できないことがあるということに気づいてからここでの生活を楽しめるようになった。いろいろな経験から感動をもらったが、その中で二つをここで取り上げたい。

一つ目、日本へ来て寂しい時心の癒しになったのは外国人に対する徳島市民と大学の学生達の親切さとお持て成しだった。T I Aの日本語クラスでも4ヶ月間坂部先生から日本語だけでなく日本文化も教えていただいて、本当に助けになった。毎週通っている鳴門教会では、日曜日の礼拝と家庭集合礼拝などに参加して、地域住民と交わりながら日本人の考え方とかを味わうことができた。そして、大学で出会った現職の先生達と韓国と日本の教育と自分の仕事について意見を交換することができていつも勉強になっている。

二つ目、絶対忘れない思い出の中で徳島県でしか見られないお盆の阿波踊りのお祭りは欠かせない。いつも真面目で静かそうな日本人の文化の中で、ブラジルのダンス祭りのような大騒ぎは衝撃だった。8月の12日から15日まで徳島県を訪れた120万の人々はみんな徳島の魅力にはまりまたここを訪問すると思う。

日本のいろいろな面を見られる徳島県での滞在期間はあまり残ってないけど、韓国に帰るまでの今の時間をたっぷり楽しみたい。徳島でできた経験から得た情報を韓国の家族と友達に発信したいと思っている。



第二の故郷——徳島

四国大学

文学部日本文学科 1 年

シュウ エイ
周 盈 中国

夏休みには、ゼミナール旅行で東京、京都に行きました。四日間の短い旅行でしたがいろんな所に行きました。東京の賑やかな町や京都の古い歴史に恵まれる雰囲気に関心しましたが、帰ったその夜の気持ちは一番印象に残りました。駅に着いた時、徳島の静かな町や柔らかい夏の風が何となく私の四日間漂っていた心を安らかにしてくれました。「ただいま」！日本にいて初めてこの「ただいま」の意味が分かるようになりました。いつの間にか、徳島はもう故郷のような存在になりました。

徳島に来てもう七ヶ月です。きたばかりの時、特に何も違和感はありませんでしたが、物価の高さにちょっとびっくりしました。三ヶ月ぐらい経って、言葉にも物価にも日本人の習慣にもだいたい慣れるようになりました。学校の勉強にも忙しいし、バイトも見つけたし、たまにはあっちこっち遊びに行くし、充実した生活を楽しんでいます。たまに故郷が懐かしくなったら、或いは悩みごとがあったら、私はいつも吉野川が見える所で一人で立って、青空を仰いだり流れている川を見たりして、心も広くなるような気がします。暫くすると、悩みがなくなり、心には生活の明るさしかないようになります。眉山も大好きです。中国では、名山はいつも隠棲した文化名人と繋がっています。或いは神話伝説の舞台として神秘的な雰囲気が溢れています。夏の夕焼けに映っていた眉山もそういう神秘性をイメージさせます。

東京と比べると徳島はちょっと田舎ですが、東京より住み心地もいいし、ゆったり生活もできるし、自然のままの風景もいっぱい見えます。夕方の道には犬を連れて散歩している人が毎日います。秋になると、バイト先への道には何箇所かで柿がいっぱい実っています。そういう風景を見るほど、心から徳島を好きになってきます。ただ一年間の交換留学はなかなか短いと思います。将来チャンスがあったら、是非また徳島に来ると思います。



徳島に来てよかった

四国大学

文学部日本文学科 1 年

リュウ ホウ
劉 芳

中国

日本に来て、もう半年以上経ちました。迷子になった時、目的地まで親切に連れて行ってくださった日本人の優しさは忘れられません。神社で拝んだ時、中国人だと知ったら、お菓子や果

物やお米などたくさん送ってくださった奥さんのことも忘れられません。また、最近、自転車から落ちて、足を捻挫して立てられなかった時、逆方向からの自転車に乗った女の子に助けられて、寮まで買った品物を運んでくれたことも忘れられません。このような情をいただいたことがまだまだたくさんあります。一度だけ会った人ですが、これからもたぶん会えない人だといっても、その優しさ、その親切さは私にとって、宝物です。

私は四国大学の一年間の中国からの交換留学生として、寮に住んでいます。四国大学の先生たちや、寮母さんたちが大事にしてくださっています。いつも温かい目で私たちを見守って、日本に慣れたかどうかと心配して、よく心遣いしてくださいます。本当に感謝の気持ちで毎日を送っています。

徳島の地元の人から、よく「徳島は田舎だろう」と聞かれますが、中国語の「麻雀虽小，五脏俱全」という諺で答えたいと思います。徳島は田舎だと言われても、観光地、美術館、高級な料理店、立派なスーパーなどなど生活を楽しむ所が簡単に見つけれられます。実に完備している町です。人は優しいし、環境もいいし、とても住み心地よい町だと思います。中国人の田舎観念で見れば、徳島は不合格です。小都市です。

今、日中関係はあまりよく進んでいないようですが、本当に悲しいと思います。私は日中両国の人民はお互い理解し合っていないから、誤解が深まってきた感じがします。日本語を三年間勉強しましたが、日本人と付き合う機会も普通の中国人より多いので、新聞に載っている政治的な言葉で日本あるいは日本人を判断することなく、心で自分が実際に見たことによって判断することができました。徳島に来て、日本の環境の美しさ、交通の安全さ、食品の清潔さなどについて、中国は勉強するべきところはたくさんあると思います。また、中国人の誰とも友達になりたいという単純な明るさも多くの日本人に知ってもらいたいと思います。両国の人民はもっと交流の機会を作って、貿易だけの経済的目

的で付き合うことなく、友好のために、お互いに深く理解しあうために努力できる機会が増えれば、日本で中国あるいは中国人を理解できる人が多くなり、また、中国でも日本や日本人を理解できる人が多くなるでしょう。



徳島での留学生活

徳島文理大学
総合政策学部

ワン ジュワン
王 涓

台湾

日本に一年の留学が決まってから、うれしい気持ちもあるけれど、不安のほうはずっと多かったです。台湾にいたとき、よく先生から「徳島は東京や大阪のよう

な大都市ではないよ」と聞きました。でも、ここに来たら、生活上の不便は何一つもないし、徳島の人々は思った以上に優しいし、不安は一気に吹き飛ばされました。

前期の授業は、一年生と二年生の授業が多かったです。私が教室に入ったとき、もうすでに友達のグループができていました。みんなに話しかけるのが怖くて、声をかけられることもなくて、私は全く学生のグループに入られなくて、友達が全然できませんでした。その時はちょっと落ち込んでいました。でも、勇気を出して、話しかけてみたら、みんないい人で、親切にしてくれて、とてもうれしかったです。

十月には「台湾食堂」という模擬店を出して大学祭に参加しました。台湾の留学生は少ないので、うまくできるかどうかずっと心配していました。でも、先生方はいつも熱心にサポートしてくれました。私達が悩んだときも、問題を解決する方法を一緒に考え、助けてくれました。先生方に対する感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

文化祭当日は、学校の先生方も学外の方々も私達の売店に買いに来て、おいしいと言ってくれてとても嬉しかったです。大変疲れたけど、参加して正解だったと思います。いい思い出になりました。

徳島に来て、学校の先生、アパートの大家さん、アパートをお世話して下さった石部宅建さん、みなさんが外国から来た私に優しく接してくださって、本当にありがたく思います。みなさんがいるおかげで、心強くなりました。今な

と言えます。徳島に来てよかったです！台湾に帰っても、いつかまたこの温かい人達がいっぱいいるところに来たいです。残りわずか数ヶ月、大事に過ごしたいと思っています。



徳島での生活

徳島工業短期大学 車体専攻科

ヨウ テンショウ

楊 天笑 中国

中国山東省の済南市から徳島に来て今年で三年になります。いろいろな事を経験したり勉強をして、成長したように思います。

徳島市は徳島県の県庁所在地ですけど、大きな都会とはいえません、だから静かな平和な町です。交通は自動車がないと少々不便です。私は徳島市にすんで毎日列車に乗って徳島工業短期大学に行っていますが、列車の待ち合わせ時間が長いうえに、約1時間に1回しかない。それは徳島の人口が少ないから、仕方がないことだと思います。

徳島工業短期大学は板野にあり、周りの景色は山と畑です。済南市と比べると板野は田舎です。大学は広くないけど、その割ににぎやかな所です。月曜日から金曜日まで、毎日授業があります。午前中は教科で午後は実習です。授業が終わってから学生は体育館でバスケットボールをしたり、運動場で野球をしたり、毎日が充実しており、先生と学生みんなは優しく、留学生の面倒をよく見てくれるので幸せな雰囲気です。私もよく日本人の友達に簡単な中国語を教えて、日本で中国の言語や文化を伝えて行きたいと思います。

学校が休みの時、留学生はアルバイトをしています。寿司屋とか、ラーメン屋とか、焼肉屋とか、ほとんど飲食店です。小遣いを稼いで、日本語の練習にもなります。大切な祝日は、みんな集まって、一緒に食事をしたり、外に遊びに行くことがあります。

日本では、コンビニが多くて、24時間営業のスーパーもあるし、買い物が便利でありありがたいです。最初来た時、寿司や、刺身みたいな生の食べ物に慣れていなかったけど、今はどんどん慣れてきました。日本人は毎日忙しいので、スーパーで弁当、カップラーメンのようなインスタント食品を食べているように思います。でも揚げ物が多くて、健康に良くない。やはり自分で料理を

作る必要があると思います。

将来、わたくしは日本で就職して、学校で勉強した知識を身につけて、経験を積んで国に帰って自分の自動車整備工場を立ち上げたいとの夢を持っています。夢が実現するように国家試験合格を目指して一生懸命頑張りたいと思います。



徳島に過ごした三年間

阿南高等専門学校

電気電子工学科 5 年

バトサイハン バトムンフ
BATSAIKHAN BATMUNKH

モンゴル

最初日本に来ることは私にとって、家から出て自分の道に行く最初の大切なステップでした。そして東京で日本語を勉強し、徳島にある阿南高専で勉強することに決めました。しかし、東京でいろいろな人に徳島について聞きましたが、徳島県はぜんぜん知らない人に一回会ってびっくりしました。徳島は日本で魚、ミカン、阿波踊り、ラーメンで人気があるとわかりました。鳴門という町もあることを聞いて、まさかアニメのナルトの町ではないかとも思いました。

初めて徳島に来て残った印象は良かったですね。大阪に近いし、海にも近いからモンゴル人の私はとても喜びました。でも電車は大阪まで行かないと乗れません。また、あとは津波が来る恐れがあるという問題もあります。私は3月11日に発生した大地震は日本だけではなく世界の人々にとっても忘れられない悲しい思い出になったと思います。心からおくやみを申し上げます。

徳島県はいろいろないい場所がたくさんあって、3年の間にいくつかを訪れました。その中でもかずら橋はいちばんよかったです。

夏の徳島はちょっと暑くてたまらないのでよく海で泳ぎに行っていました。実はプールがあるのですが自分と年齢に近い人があまりに来ないので恥ずかしかったです。ある日友達と一緒にプール行こうといわれて初めてプールへ行きました。それは阿南スポーツセンターです。そこで、水泳している皆さんがやさしくてとてもよかったのでそれからはいつもそのプールへ行くようになりました。何も知らずに来た私を今まで助けてくれた先生たち、新しくできた友達のおかげで、私は「徳島県の人ってやさしいですよ」と胸を張って言えます。

来年から私は福井大学へ編入しますが、徳島でいろいろな人にいつもお世話になってきたので心から「今まで本当に長い間ありがとうございました」と言いたいです。



徳島で過ごした 3 年間

阿南工業高等専門学校

電気電子工学科 5 年

イラッシャルディラ ビンティ バイ ハキ
IRRASYARDILLA BINTI BAIHAKI

マレーシア

最初のころ、日本に来てとても大変でした。私は留学生の中で女子は私一人でした。それに、日本語があまり上手じゃなかったのもので、

日本人の相手に話したら意味が伝わらない時もありました。それで、寮の生活に慣れるまですごく時間がかかりました。私は、マレーシアにいる間このような寮に住むことがありませんでした。点呼とラジオ体操や減点は絶対ないです。初めは本当に受け入れられませんでした。泣きたいほどつらいと言う気持ちになったこともあります。しかし、日本に来たから日本のことに慣れなければならないと思い、慣れるまでには約半年ぐらいの時間がかかりました。

ところで、徳島は環境的にいいと思います。私は、緑が好きだから、ここに来て、よかったと思います。かずら橋は景色がとてもきれいで、特に秋になると美しいので、毎年必ずマレーシアの友達とかずら橋へ行きます。関東の人は人間関係が冷たいと言われますが、私は阿南高専で約 3 年近く暮らしてきているので、徳島の人はずごく温かくて親切だということがよくわかります。例えば、電車に乗っていると、知らない人に声をかけられるのですが、本当にうれしいことです。また、時々、おばあちゃんからあめをもらいます。3 年生の時、ホストファミリーができました。最初にあった日に大阪へ連れて行ってくれて、大阪城などいろいろなところを観光しました。とても感動しました。阿南高専では留学生のためにバス旅行、料理教室、ホームステイなどいろいろなイベントが行われます。楽しいことが体験できて、嬉しかったです。

勉強はどこにいてもいつも大変です。簡単なものじゃないです。日本に来た時、ひらがなとカタカナは問題がありませんでしたが、漢字は私が一番苦手でした。英語で勉強したら、もっと簡単かなと私は思います。しかし、人生にい

つも簡単なことばかりだと、おもしろくないでしょう。だから、これはチャレンジと考えて、最後まで頑張りたいと思います。

徳島での生活は後半年ぐらいですが、より多くの経験を持ちたいと思います。そして、ここで学んだことはこれからどこへ行っても決して、忘れることはないでしょう。



もうすぐ3年間、

もうすぐさよなら

阿南工業高等専門学校
制御情報工学科5年

グエン ホアイ ナム
Nguyen Hoai Nam

ベトナム

「もう日本人になりましたね」と最近言われる私は、今までの3年間を過ごした徳島の思い出を思い返しています。

1年間東京で日本語を勉強して、それから徳島へ引越して来て阿南高専で勉強を始めてから、もう3年間になります。

徳島と東京の雰囲気は全然違います。人も少ないし、生活も静かだし、最初にはあまりにつまらなさそうで、私は少し悲しかったです。

しかし、「目の前に見える物事が全てではない」ということが私はだんだん知ることになりました。阿南に来たばかりの時、高専の先生方や国際交流室の先生方にたくさん手伝ってもらって、新しい生活にすぐ慣れることができました。阿南国際交流協会の皆様にも大変お世話になりまして、つまらなそうな生活はおもしろいものになりました。

徳島にはいっぱい思い出があります。四国内外の旅行に行ったり、徳島県内でもいっぱいお祭りに出たりしました。その際、私は「阿波踊り」のことも分かりました。徳島の文化のことが分かれば分かるほど、それがどんどん好きになっていきました。そして、平成23年7月、私は徳島県国際交流協会の弁論大会に出ました。阿波弁に慣れたら徳島人になれるかなと私は楽しく考えて、

阿波弁の話をしました。

もうすぐ高専を卒業して、また東京へ行きますが、徳島での生活は忘れられないと思います。親切な人々、いっぱい手伝ってくれた国際交流協会の皆様、「阿波」という言葉を聞く度に私の頭にいい思い出がよみがえってくることでしょう。

「皆様、いつまでもお元気で。」



美しい徳島、心の美しい徳島の人たち

徳島大学

総合科学教育部博士前期課程 2 年

キ イン
季 昀

中国

留学生の季昀（キイン）と申します。中国の上海から来ました。日本に来てすでに 3 年になります。徳島に来る前、京都に 9 ヶ月間住んでいました。2011 年 4 月に徳島大学に入学しました。

徳島は、上海や京都のように賑やかではなく、非常に静かな町です。徳島の人はこちらが「田舎」と言います。しかし、徳島にはとても綺麗な景色がたくさんあって、とてもいいところです。

私が住んでいる津田というところはその一つです。新浜の方向から「勝浦川」という川が流れていて、海の方を見るとこの川の河口が見えます。勝浦川はここから海に流れ込んでいます。青く広い海、まるで心も洗われるような感じがします。また、大学から徳島中央公園へ行く途中には「助任川」があります。このような美しい景色は徳島でどこでも見られますが、一番印象に残るのは「吉野川」です。「吉野川」は上海の「黄浦江」（楊子江の支流）と同じように、徳島にとって母親のような川です。清らかで雄壮な水の上に、自転車でも通ることができる「吉野川橋」がかけられています。初めて自転車に乗って吉野川橋を渡ったときの、風に吹かれ、日の光を浴びた、あの時の気持ち、心が解放され、自由を感じた気持ちは、本当に言葉で言えないものでした。

徳島駅の近くにある「新町川」も書かなければなりません。夏になると徳島

で一番賑やかで盛大なお祭——阿波踊りがこの新町川の近くで開催されます。毎年 8 月には、太鼓と笛の音が空気に満ち、静かな徳島が突然活気に満ち溢れ、私も一緒に踊りたくなります。阿波踊りは本当に何回見ても全然飽きません。

徳島での生活で感動するのは美しい景色だけでなく、美しい心を持っている徳島の人たちです。研究室には親切な先輩がいて、私の研究を助けてくださり、また論文を直してくださいます。大学の先生や職員の方、道をきくときに会った人、方言の調査に協力して下さった方々、皆さんの優しさは忘れられません。

私は中国語を教えるバイトをしています、そこで多くの徳島の人にあいます。その人たちは退職している年配の方々に、仕事や進学のためでなく、ただ自分が中国語と中国の文化に興味があって、中国語を勉強しに来ています。私は中国語を教えると同時に、この方々から日本語を習っています。そして、日本の文化・習慣やこの方々の世代と今の若者の世代との違いなども教えてもらいました。週に一回の授業で、ほとんど毎週年配の女性の方が自分で植えた野菜と果物を私にくださいます。この方はこんなことを言ってくれます。「留学生は大変だな。野菜と果物をもっと食べて。ビタミンがあるから」。そして、いつも私の研究、生活、就職活動を気にかけてくれます。

来年いよいよ卒業です。徳島での生活は私にとってとても貴重な経験であり、人生において大切な宝物でもあります。将来どこに行っても、徳島の美しい景色、心が美しい徳島の人たちのことは、一生忘れません。



豊かな徳島

徳島大学

先端技術科学教育部博士前期課程 2 年

ガンバト ボロルツェツェグ

GANBAT BOLORTSETSEG

モンゴル

モンゴルから来た留学生のボロルです。

私は 2009 年 3 月に日本に来ました。今年は 4 年目です。最初の 2 年間は奈良の短期大学で日本語を勉強しました。奈良は日本の昔の首都で有名な町です。奈良は少しにぎやかな町でしたが、私は大阪のほうがもっと楽しいと思いました。楽しめるところがたくさんあって、交通も便利で、商店街を歩いていくだけでも楽しいので、大阪に住んでいました。

短大を卒業して徳島大学に入学することになり、徳島に引っ越ししてきました。徳島は都会ではないので、勉強をしっかり頑張ろうと考えていました。徳島に来てからしばらくは毎日同じことだけをして、一緒に遊ぶ友達もいないのでいつもひとりでいました。

今、その思いは変わりました。それは、徳島の人々のおかげです。本当は数人なのですが私は徳島の「人々」と言いたいです。私の住んでいるアパートの隣にお年寄りのご夫婦が住んでいます。私が留学生であることを知ってから、このご夫婦は私に声をかけてよく話をしてくれます。時間があるときには、簡単なお手伝いをしながらこのおばあちゃんといろいろな話をします。とても元気な方なので私ができることはあまりないのですが、私の祖母のように感じられるのでいつも話をしに行きます。このご夫婦は二人とも徳島出身で、徳島のことをとても愛しています。週2回ぐらい朝4時に起きて眉山へ散歩に行くそうです。ただの散歩ではなくゴミを拾うためです。私も何回か一緒に行きました。また、大学でも同じ留学生の友達や日本人の友達ができました。この人たちは私のひとりさみしい気持ちを変えてくれました。

大きい都市は楽しいけれど人が多すぎて、家族や友達のように親しい人は少なかったです。徳島にきてからたくさんの人と出会って友達になって、いろいろなことを体験することができました。徳島が住みやすく感じるのは、徳島の人々が優しいからでしょう。今は自然や人の優しさに囲まれた徳島での生活が大好きです。